

▲ ▼ 2022 ミス日本「海の日」属安紀奈さん ▼ ▲ ⑫

— 船と港、海に関わる仕事の大切さを学んだ1年 —

早いもので、私のミス日本としての現役活動も残りわずかです。私にとってこの1年は新しい学びがあるたびにもっと海が好きになるような年でした。活動を通してお会いできた海洋業界の皆様、この機関誌『海員』を通して私の活動を知って下さった皆様に心より御礼申し上げます。今月号では地元が大好きな私らしく、地元の港、徳山下松港開港100周年記念イベントを皆様にご紹介しながら1年間を振り返りたいと思います

■徳山下松港初！帆船3隻同時寄港

徳山下松港開港100周年を記念して、港に初めて海技教育機構の練習船「日本丸」「海王丸」、グローバル人材推進機構の「みらいへ」、3隻の帆船が同時に寄港しました。「日本丸」は1984年、海の若人を育ててきた初代の日本丸の代替船として建造されました。「海王丸」は、同様に初代海王丸の代替船として1989年に建造されました。初代日本丸と初代海王丸は、ともに1930年に建造され、正確な記録が残されている1952年以降でも、初代日本丸は127万kmの航海実習訓練で6509名の実習生を育て、初代海王丸は7708名の実習生を育て、約146万kmの航海を完遂しました。

初代と同じく海の若人を育てている2隻が、2022年11月5日（土）～6日（日）に行われた【「日本丸」「海王丸」「みらいへ」帆船3隻同時寄港イベント】のため、「日本丸」は乗組員48名、実習生103名の計151名と、「海王丸」は乗組員46名、実習生106名の計152名で、訓練途中に徳山下松港に寄港してくださいました。どちらも、全長約110mの帆船と聞いていましたが実際に目の当たりにするとマストが想像以上に高く、スケールが予想以上だったことに驚きました。

帆船「みらいへ」は、日本で唯一、一般の方でも自由に乗船できる帆船です。未来を担うグローバル人材の育成を目的とした取り組みをしており、今回のイベントでも行ったセイルドリル（岸壁に停泊中の帆船で帆を広げたり閉じたりすること）は帆船を初めて見た人にとって、特に印象的だったと思います。

引っ張るときの掛け声は「ツー・シックス・ヒープ！」です。「ツー・シックス」で手を持ち替え、「ヒープ」で引っ張ります。私も参加しましたが、掛け声で全員の呼吸を合わせるチームワークが必要な作業だと感じました。また、小学生対象の航海体験も行われました。約6時間に及ぶ貴重な船旅が大人気でした。

こうした実践的な活動が、船を見る機会がない人や海離れしている人が船や海に関心を持つきっかけになります。海や船に関心を持つことは、海好きが増えることにもつながります。

「海員だより」